

3. 2008 年度総会等報告

(1) 地域安全学会 2008 年度総会 報告

1. 日 時 : 2008 年 5 月 30 日 (金)
2. 場 所 : 北海道洞爺湖町 洞爺湖文化センター
3. 議 題
議長選出
 - 1) 2007 年度事業報告 報告
 - 2) 2007 年度決算 審議
 - 3) 2008 年度役員の変更結果 審議
 - 4) 委員会構成の変更 報告
 - 5) 2008 年度事業計画 報告
 - 6) 2008 年度予算 報告
4. 論文奨励賞授与

出席者 :

正会員数 590 名 (1/10 以上で成立)

出席 33 名, 委任状 195 名, 合計 228 名

1) 2007 年度事業報告

(1) 理事会の開催

2007 年度は理事会を下記のとおり開催した.

- 第 1 回 2007 年 5 月 25 日 (三宅島), 第 2 回 2007 年 7 月 28 日 (東京)
第 3 回 2007 年 9 月 15 日 (東京), 第 4 回 2007 年 11 月 9 日 (静岡)
第 5 回 2008 年 1 月 26 日 (東京), 第 6 回 2008 年 3 月 29 日 (東京)

(2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催した.

日時 : 2007 年 5 月 25 日 (金) ~ 26 日 (土)

場所 : 東京都三宅島 旧阿古小学校

一般論文発表 : 27 件

公開シンポジウム : 「三宅島の復興の現状と展望」

(3) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催した.

日時 : 2007 年 11 月 9 日 (木) ~ 10 日 (金)

場所 : 静岡県地震防災センター

査読論文発表 : 36 件, 一般論文ポスター発表 : 37 件

(4) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

- ・春季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No. 20」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会論文集 No. 9」を刊行し論文賞（0編），論文奨励賞（3名）を選出した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No. 21」を刊行した。

(5) 第2回国際都市防災会議の共催

日時：2007年11月27日（火）～29日（木）

場所：台湾・台北市で開催

地域安全学会より60件以上の論文を発表した。

(6) ニュースレター発行とホームページ管理

2007年度はニュースレターNo. 59-No. 62の計4号を発行した。

ホームページの更新管理を随時行った。

(7) 韓国防災学会との交流協定締結

2007年11月9日に静岡市で開催された秋季研究発表会において，韓国防災学会と地域安全学会の交流協定を締結した。海外機関との交流協定の締結はこれが最初である。

また，2008年2月28日に韓国ソウル市で開催された韓国防災学会研究発表会に，地域安全学会より3名の理事が参加し研究発表と交流を行った。

(8) 地域安全学会技術賞の選出

表彰委員会を創設し，地域安全学会技術賞に関する規定を作成した。また，第1回技術賞の選考を行い，計6件の応募に対し，1件を技術賞に選出した。

(9) 会員名簿の改定

2007年度会員名簿を発行した。

今後に向けて会員管理の効率化，個人情報保護を考慮した会員管理，会員名簿について検討を行った。

(10) 役員選挙の実施

2008年度新役員選挙を実施し，理事13名，監事1名を選出した。

(11) 会員数および年会費納入（2008年3月末）

	会員数	会費納入状況		
		過年度	本年度	次年度
賛助会員	2	—	2	—
正会員	590	144	446	—
学生会員	53	11	42	—

補足：会費の納入について

- ・2008年度より，正会員5,000円とすることが2007年度総会にて承認された。
- ・2007年度より会費振込み用紙を4月に発送。（2008年度は6月発送予定）
- ・12月末時点の未納者には督促を行った。
- ・2月末時点で2年連続の未納者は理事会での決定により退会となる。

3) 2008 年度役員の改選結果

(1) 改選対象役員

1) 理事

- 糸井川栄一 (筑波大学 大学院システム情報工学研究科)
- 大西一嘉 (神戸大学 大学院工学研究科)
- 岡田成幸 (名古屋工業大学 大学院社会工学)
- 佐土原聡 (横浜国立大学大学院 環境情報研究院)
- 塩野計司 (長岡工業高等専門学校 環境都市工学科)
- 高梨成子 (㈱防災&情報研究所)
- 田中 聡 (富士常葉大学 大学院環境防災研究科)
- 中林一樹 (首都大学東京 大学院都市科学研究科)
- 林 春男 (京都大学 防災研究所) <退任, 顧問へ>
- 南 慎一 (北海道立北方建築総合研究所)
- 宮野道雄 (大阪市立大学 大学院生活科学研究科)
- 村上ひとみ (山口大学 大学院理工学研究科)
- 森伸一郎 (愛媛大学 工学部環境建設工学科)

以上 13 名

2) 監事

- 井野盛夫 (富士常葉大学 環境防災学部)

(2) 選出役員

規程により以下の理事, 監事を無競争で選出した.

1) 理事

- 糸井川栄一 (筑波大学 大学院システム情報工学研究科)
- 大西一嘉 (神戸大学 大学院工学研究科)
- 岡田成幸 (名古屋工業大学 大学院社会工学)
- 佐土原聡 (横浜国立大学大学院 環境情報研究院)
- 塩野計司 (長岡工業高等専門学校 環境都市工学科)
- 高梨成子 (㈱防災&情報研究所)
- 田中 聡 (富士常葉大学 大学院環境防災研究科)
- 中林一樹 (首都大学東京 大学院都市科学研究科)
- 牧 紀男 (京都大学 防災研究所) <新任>
- 南 慎一 (北海道立北方建築総合研究所)
- 宮野道雄 (大阪市立大学 大学院生活科学研究科)
- 村上ひとみ (山口大学 大学院理工学研究科)
- 森伸一郎 (愛媛大学 工学部環境建設工学科)

以上 13 名

2) 監事

- 井野盛夫 (富士常葉大学 環境防災学部)

2008 年度地域安全学会役員

2008. 5. 30 現在

会 長	山崎 文雄*	千葉大学 大学院工学研究科	理事会・総会担当
副会長	重川 希志依*	富士常葉大学 大学院環境防災研究科	経理担当, 安全工学シポジウム担当
副会長	宮野 道雄	大阪市立大学 大学院生活科学研究科	会員担当, 公益法人化担当
理 事	池田 浩敬*	富士常葉大学 大学院環境防災研究科	学術委員会 (副)
理 事	糸井川 栄一	筑波大学 大学院システム情報工学研究科	研究運営委員会 (正)
理 事	岩田 孝仁*	静岡県防災局	秋季研究発表会 (副・会場)
理 事	大西 一嘉	神戸大学 大学院工学研究科	広報委員会 (HP 担当)
理 事	岡田 成幸	名古屋工業大学大学院 社会学	総会・春季研究発表実行委員会
理 事	清野 純史*	京都大学 大学院工学研究科	選挙管理委員会 (正)
理 事	佐土原 聡	横浜国立大学大学院 環境情報研究院	国際交流担当
理 事	塩野 計司	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	広報委員会 (正, ニュースレター担当)
理 事	高梨 成子	憫防災&情報研究所	広報委員会 (副, HP 担当)
理 事	立木 茂雄*	同志社大学 社会学部	国際交流担当
理 事	田中 聡	富士常葉大学 大学院環境防災研究科	秋季研究発表会 (正・梗概集)
理 事	中林 一樹	首都大学東京 大学院都市科学研究科	研究運営委員会 (副)
理 事	能島 暢呂*	岐阜大学工学部	学術委員会 (正)
理 事	牧 紀男	京都大学防災研究所 巨大災害研究センター	学術委員会
理 事	翠川 三郎*	東京工業大学 大学院総合理工学研究科	選挙管理委員会 (副)
理 事	南 慎一	北海道立北方建築総合研究所	総会・春季研究発表会実行委員会
理 事	村尾 修*	筑波大学 大学院システム情報工学研究科	表彰委員会 (正)
理 事	村上 ひとみ	山口大学 大学院理工学研究科	企画研究小委員会#1 (正)
理 事	目黒 公郎*	東京大学 生産技術研究所	表彰委員会 (副)
理 事	森 伸一郎	愛媛大学 工学部環境建設工学科	総会・春季研究発表実行委員会
理 事	矢代 晴実*	東京海上日動リスクコンサルティング株式会社	総会・春季研究発表実行委員会 (正)
理 事	大江 秀敏	東京消防庁 防災部	2008 年度新任
理 事	金谷 裕弘	総務省消防庁 防災課	
理 事	淵上 善弘	国土交通省都市・地域整備局 まちづくり推進課 都市防災対策室	
理 事	五十嵐 崇博	国土交通省河川局 防災課災害対策室	2008 年度新任
理 事	池内 幸司	内閣府 参事官(地震・火山対策担当)	
監 事	井野 盛夫	富士常葉大学 環境防災学部	
監 事	室崎 益輝*	関西学院大学 総合政策学部	

*は 2008 年度末に改選予定の理事・監事

顧 問

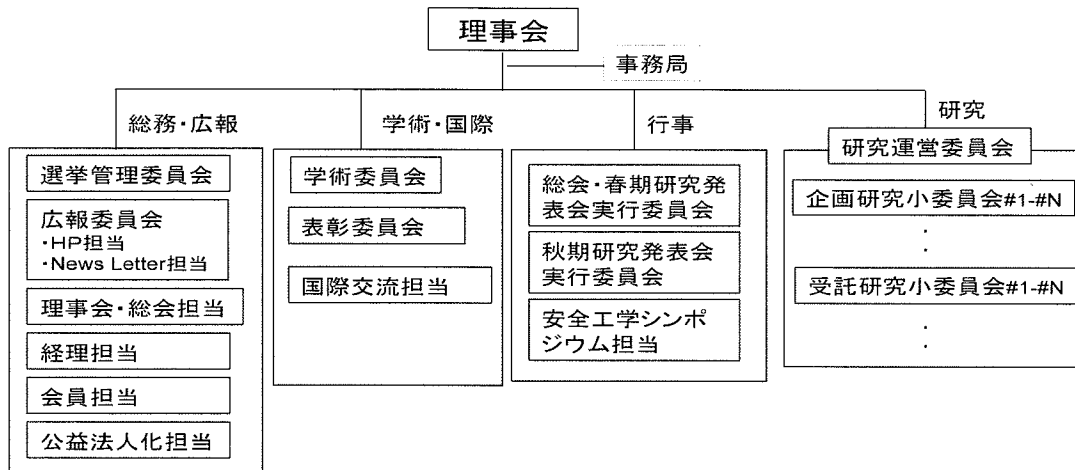
伊藤 滋	小川 雄二郎	梶 秀樹	片山 恒雄	亀田 弘行
熊谷 良雄	高野 公男	長能 正武	濱田 政則	林 春男 [†]
村上 處直	村上 雅也	宮本 英治 [†]	吉井 博明	

#2008 年度新規選出

4) 委員会構成の変更について

地域安全学会の運営をより円滑に行うため、委員会と担当を大きく4つにグループ化し、役割分担を明確化する。また、調査企画委員会と受託研究委員会を統合し、企画（公募）研究および受託研究の運営管理は、「研究運営委員会」で行う。また、個別テーマに関する研究の推進は、企画研究小委員会、受託研究小委員会を必要な数設けて行うこととする。

2008年度 地域安全学会の組織と委員会構成



5) 2008 年度事業計画

(1) 理事会の開催

2008 年度は理事会を下記のとおり開催する。

- 第1回 2008年 5月30日（金）洞爺湖 16:00-17:00
- 第2回 2008年 7月26日（土）東京 15:00-17:00
- 第3回 2008年 9月13日（土）東京 15:00-17:00
- 第4回 2008年 11月14日（金）静岡 17:00-18:00
- 第5回 2009年 1月24日（土）東京 14:00-17:00
- 第6回 2009年 3月28日（土）東京 14:00-17:00

(2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催する。

- 日時：2008年 5月30日（金）～31日（土）
- 場所：北海道洞爺湖町 洞爺湖文化センター

(3) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催する

- 日時：2008年 11月13日（木）～15日（土）
- 場所：静岡県地震防災センター

(4) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

春季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No. 22」を刊行する。

秋季研究発表会において「地域安全学会論文集 No. 10」を刊行し、論文賞、論文奨励賞を選出する。

秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No. 23」を刊行する。

(5) 広報活動の強化と会員管理

会員サービスの向上を目指して、ホームページとニュースレターの改革を行う。また、会員管理の効率化と個人情報保護を同時に満たすため、会員データベースを構築し、会員番号を付与する。

(6) 技術賞の選出

表彰委員会において第2回地域安全学会技術賞の選考を行う。

(7) 国際交流の推進

韓国防災学会との交流を推進する。

(8) 役員選挙の実施

2009年度新役員選挙を実施し、理事12名、監事1名を選出する。